



平成26年8月14日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
 アップルインターナショナル株式会社
 代表取締役会長兼社長 久保 和喜
 (コード番号: 2788 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 近藤 則明
 TEL (059) 347-3515

平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異並びに 営業外費用に関するお知らせ

平成26年2月19日に公表しました平成26年12月期第2四半期連結累計業績予想と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異

平成26年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値との差異(平成26年1月1日～平成26年6月30日)業績予想数値の修正

【連結】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益 及び 四半期純損失 (△)	1株当たり 四半期純利益 及び 1株当たり 四半期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,233	494	104	31	2.49
今回実績値(B)	20,005	429	30	△139	△11.23
増減額(B-A)	△3,227	△64	△73	△170	—
増減率(%)	△13.9	△13.1	△70.3	△551.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年12月期第2四半期)	15,288	346	82	117	9.42

2. 差異の理由

売上高については、中国子会社の主力商品であるメルセデスベンツの販売台数が前年同期に対し増加となり増収増益となりましたが、販売台数の未達により当初予想を下回る結果となりました。

経常利益については、持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額34百万円を営業外費用に計上いたしました。

また為替相場の変動により、為替差損36百万円を営業外費用に計上したことから、当初予想を下回る

結果となりました。

四半期純利益については、当社の子会社を通じて保有している BEST VENTURE (HK) LIMITED (持分法適用会社) の全株式を売却したことにより、298 百万円を特別損失として計上したことから当初予想を下回る結果となりました。

その結果、前回発表予想と実績値に差異が生じました。

平成26年12月期の通期連結業績につきましては、現時点では業績への反映を合理的に見積もることが困難な状況であります。

従いまして、通期業績予想につきましては、今後、明確になり次第、速やかに開示いたします。

3. 営業外費用の計上について

為替相場の変動により、当第2四半期連結累計期間において為替差損 36 百万円を営業外費用に計上しております。

なお、上記金額は当社グループが保有する外貨建て債権債務の期末換算レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。また持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額 34 百万円を営業外費用に計上しております。

以上